

目 次

□巻頭言 新たな対応を迫られる建設機械……………鈴木 直 道/1
 石油備蓄の現況と将来……………本 部 和 彦/3
 省エネルギーの必要性と対策……………原 忠 博/9
 本川揚水発電所の工事計画……………鎌 田 文 明/15
 有峰水力発電所の工事計画……………高 瀬 博 市/20
 音別火力発電所の工事計画……………木 村 恵 洋/25
 東海第二原子力発電所の土木工事……………山 崎 正/31

グラビヤ——明日のエネルギーを担う原子力発電所の建設状況

低公害化工法によるコンクリート構造物

取り壊し工事実績—都営住宅西栗鴨3丁目除却工事……………木 村 匡 男/37
 土の切削機構とその周辺……………畑 村 洋 太 郎/42
 □随 想 内挿と外挿……………村 山 朔 郎/50

□部会研究報告

コンクリート機械に関するアンケート調査(その3)

……………機械技術部会コンクリート機械技術委員会/52
 昭和52年度除雪機械展示実演会開催……………/59

□新機種ニュース……………調 査 部 会/63

□整備技術

ベアリングの損傷……………整備技術部会/67

□ISO 規格紹介

建設機械の安全性の必要条件および
 居住性に関する ISO 標準規格(6)……………I S O 部 会/70

□建設機械化研究所抄報 <No. 121>

346. 臨海コンクリート工業コンクリートブランド船
 “第一りんかい号”……………/73
 347. 小松 D 50 A-16 型ブルドーザ……………/73

□統 計

建設工事受注額・建設機械受注額・建設機械卸売価格の推移
 ………………調 査 部 会/75

行 事 一 覧……………/76

編 集 後 記……………(合 田 ・ 三 浦)/78

◀表紙写真説明▶

三井ランドメイト

HL 707 型

三井造船株式会社

本機は三井ランドメイトシリーズの中核をなす機種で、0.5~0.6m³クラスと同等な外形寸法ながら大型並みのメカニズムと耐久性を備えた0.7m³クラスのショベルであり、主な特長は次のとおりである。

- ① ゆとりある50馬力空冷ディーゼルエンジンを搭載
- ② 余裕あるパワーをフルに引出す運転容易なパワーシフトを採用
- ③ 軽い踏力で確実に制動する四輪ディスクブレーキを装着
- ④ 機動性を誇る30km/hrの走行速度と3.8mの最小回転半径
- ⑤ 強力で取扱い容易なバックホウ
 - 位置決め簡単なスライド式油圧ロックを標準装備
 - 大きな作業半径と強力な掘削力
 - ビン差換えなしで格納や角振りが可能